公告第1号

入　札　公　告

条件付一般競争入札を行うので、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号。以下「施行令」という。）第167条の6第1項及び山鹿植木広域行政事務組合財務規則（昭和 48 年規則第1号）第89条の規定により公告する。

平成26年 1 月 14 日

山鹿植木広域行政事務組合
管理者　中嶋憲正

1　入札に付する事項

(1)	物品番号	山広消第 22 号
(2)	購入物品及び数量	高規格救急自動車 1 台及び高度救命処置用資機材一式
(3)	納入場所	熊本県山鹿市南島 1270 番地1　山鹿消防署
(4)	完成期限	契約日から平成26年3月31日まで
(5)	最低制限価格	無
(6)	入札保証金	免除
(7)	入札回数	2回とする。（予定価格との差が僅少で、落札しない場合は原則として最終回入札の最低額入札者と随意契約による。この場合の見積書提示回数は2回までとする。）

2　入札に参加する者に必要な資格に関する事項

(1)この入札に参加する者は、入札書の提出締切時点で、次に掲げる要件をすべて満たしている事とする。

(ア)平成25年度の物品製造等に係る競争入札参加資格を有する者とする。ただし、前記の競争入札参加資格を有しない場合は、入札日の 2 日前までに入札参加資格審査申請書（国土交通省統一様式）及び添付書類を提出すること。

(イ)入札公告の日から契約までの間に山鹿植木広域行政事務組合工事等請負・委託契約に係る指名停止等の措置要綱（平成13年告示第4号）に基づく指名停止期間中でないこと。

(ウ)施行令第167条の4の規定に該当していない者。

(エ)会社更生法（平成14年法律第154号）第17条又は民事再生法（平成11年法律第225号）第21条の規定による更生手続又は再生手続の開始の申立てがなされた場合は、更生計画の許可決定又は再生計画の許可決定がなされていること。

3　入札参加条件

（1）公告日から遡って5年の間に、日本国内において高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材を納入した実績を有すること。

（2）高度管理医療機器等販売業許可証を有すること。

4　仕様書閲覧期間又は現場説明日時及び契約条項を示す場所

（1）仕様書閲覧期間、方法及び場所

（ア）　閲覧期間　　公告の日から平成26年1月24日（金）正午まで

（イ）　閲覧場所　　山鹿消防署2F「消防本部」及び本組合ホームページ

（2）現場説明会は行わない。

（3）質疑申し出期間及び回答

（ア）　受付期間　　公告の翌日から平成26年1月24日（金）正午まで

※質疑申出書(様式第1号)により消防本部総務課　担当者へFAXかメールで提出すること。電話等による質問は受け付けない。

（イ）　回 答 日　　平成26年1月28日（火）

（ウ）　回答方法　　FAX 又はメールにて回答。

5　入札及び開札の場所並びに日時

（1）入札日

（ア）　入 札 日　　平成26年1月30日（木）

（イ）　入札及び開札時間　午前10時00分

（ウ）　入札及び開札場所　山鹿消防署2F「多目的ホール」
熊本県山鹿市南島1270番地1

（2）入札方法

（ア）入札書（様式第2号）は、物件番号･購入物件名･納入場所･商号及び代表者名を記載した封筒に封入するものとする。委任状（様式第3号）については別途提出すること。

（イ）落札決定にあたっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の5に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず見積もった契約希望金額の105分の100に相当する金額を入札書に記入すること。

（ウ）落札候補者は、入札後積算内訳書を提出すること。

(3)落札者の決定について

落札者決定通知予定日　平成26年2月4日(火)

(4)入札結果の公表及び方法について

(ア)入札結果の公表は契約日から10日以内に行う。

(イ)公表は、消防本部前掲示板及び組合ホームページにおいて行う。

6 入札参加資格要件の審査に関する事項

(1)落札候補者の入札参加資格要件の審査

事後審査により行うため、落札候補者となった者のみ審査を行う。なお、落札候補者は、入札参加資格確認申請書(様式第4号)及び物品等納入実績調書(様式第5号)を、入札のあった日から3日以内(土日を除く)に消防本部総務課へ提出しなければならない。

(2)落札者の決定

落札候補者が入札参加資格を有すると確認され、落札者と決定されたときは、速やかに電話等確実な方法で通知する。

(3)入札参加不適格の通知

落札候補者が入札参加資格を有していないことを確認した場合は、理由を付して通知する。

(4)上記(3)の場合は、次点の者を落札候補者とし、同じ手続きを行うものとする。

7 入札の無効について

山鹿植木広域行政事務組合工事入札心得(平成9年告示第5号)第9条に該当する入札は無効とする。また、2の入札に参加する者に必要な資格のない者がした入札。

8 質疑及び連絡先

(1)本入札及び業務全般に関すること

山鹿広域行政事務組合消防本部　総務課(黒田)
〒861－0535
熊本県山鹿市南島1270番地1山鹿消防署2F
電　話:0968－43－1194
FAX:0968－43－5100
Eメール:t-kuroda@yamagauekisyobo.or.jp

様式第1号

質疑申出書

平成　　年　　月　　日

山鹿植木広域行政事務組合
管理者　中嶋　憲正　様

所　在　地
商号又は名称
代　表　者　　㊞

物品番号　　山広消第　22　号

物　品　名　　高規格救急自動車1台及び高度救命処置用資機材一式

納入場所　　熊本県山鹿市南島1270番地1　山鹿消防署

番号	ページ	質　疑　事　項

様式第2号

入　札（ 見 積 ） 書

	拾	億	千	百	拾	万	千	百	拾	円
金額										

物品番号　山広消第 22 号

物 品 名　高規格救急自動車1台及び高度救命処置用資機材一式

納入場所　熊本県山鹿市南島1270番地1　山鹿消防署

山鹿植木広域行政事務組合工事入札心得その他関係規定を承諾の上、入札（見積）します。

平成　　年　　月　　日

住　所

商号又は
名　　称

代 表 者　　㊞

山鹿植木広域行政事務組合
管理者　中嶋 憲正 様

（備考）
1　入札（見積）金額の有効数字直前に￥を付すこと。
2　入札、見積の場合，それぞれ不要の文字を抹消のこと。
3　入札（見積）金額は、見積もった契約希望金額の 105 分の 100 に相当する金額を記載すること。

様式第3号

委　任　状

今般都合により、　　㊞　を代理人と定め、次の業務について下記の権限を委任します。

物品番号　山広消第　22　号

物　品　名　高規格救急自動車1台及び高度救命処置用資機材一式

納入場所　熊本県山鹿市南島1270番地1　山鹿消防署

委　任　事　項

1．入札に関する一切の件

平成　　年　　月　　日

住　　所

商号又は名称

代　表　者　　㊞

山鹿植木広域行政事務組合

管理者　中嶋　憲正　様

様式第4号

入札参加資格確認申請書

平成　　年　　月　　日

山鹿植木広域行政事務組合
管理者　中嶋　憲正　様

（申請者）
住　　所
商号又は名称
代　表　者　　印

下記業務に係る条件付き一般競争入札に参加する資格について確認されたく、申請します。なお、公告に規定する入札参加資格を満たしていることを誓約します。
また、同規定に該当しなくなったときは、直ちに貴組合に報告いたします。

記

1　入札公告日
平成26年　　月　　日

2　物品名
高規格救急自動車1台及び高度救命処置用資機材一式

※添付書類
1　物品等納入実績調書（様式第5号）及び契約書の写し
2　高度管理医療機器等販売業許可証の写し

様式第5号

物品等納入実績調書

納　入　先	納　入　品　名	規格及び数量	納　入　金　額 （単位：千円）	納　入　年　月
				年　　月
				年　　月
				年　　月
				年　　月
				年　　月
				年　　月
				年　　月
				年　　月
				年　　月
				年　　月
				年　　月

記載要領　1　本表は、直前5年間の主な納入実績について記載すること。件数の多い場合は、各年とも1年間分について1枚に入るだけ記入すれば結構です。

2　納入金額の欄は、消費税込みの金額を記載すること。

3　それぞれの契約書の写しを添付すること。

平　成　２５　年　度

高規格救急自動車仕様書

山鹿植木広域行政事務組合消防本部

第１　総　則

１　本仕様書は、山鹿植木広域行政事務組合消防本部（以下「消防本部」という。）が、平成２５年度に実施する山鹿消防署に配備する高規格救急自動車（以下「救急車」という。）の車両及び艤装の仕様について定める。

２　救急車の規格は、平成２５年度市町村消防防災設備費補助金交付要綱によるほか、救急業務実施基準並びに道路運送車両法の保安基準等の関係法令に適合するとともに、緊急自動車として承認が得られるものでなければならない。

３　検査は、中間検査及び完成検査とし、中間検査は書類審査とし完成検査は消防本部が指定する場所とする。

４　納期は、平成 26 年 3 月 31 日までとし、納入場所は山鹿消防署とする。

５　保証期間は、装備品については１年とし、車両についてはメーカーの定める期間とする。

６　車両の新規登録に要する費用は受注者の負担とする。但し、自動車重量税及び自動車損害賠償責任保険は消防本部の負担とする。

更新対象車両については、受注者が廃車手続き及び廃棄前写真を添付のうえ発注者に報告するものとし、費用は受注者負担とするものとする。

７　本仕様書に明記していない仕様について、疑義が生じた場合は、別途に消防本部の指示を受けるものとする。

８　提出書類

（１）救急車の製作に先立ち次の図書を各２部提出し、消防本部の承認を得ること。

ア　車両主要諸元表及び価格内訳表
イ　作業工程表及び製作概要図
ウ　艤装五面図
エ　装備品取付け図
オ　電気配線図
カ　その他指示するもの

（２）納車、検収時に次の書類を提出すること。

ア　最終艤装五面図（２部）
イ　車両等取扱説明書
ウ　各主要取付け品及び付属品の一覧表（製造会社、住所、電話、カタログ）
エ　改造自動車届出書及び自動車検査証（写）
オ　完成車写真（製造工程時に日付入り写真を撮影し、電子媒体化したもの）
カ　その他指示するもの

第２　仕　様

１．車両本体

（１）車両定員　　７名以上

（２）車両構造は、本仕様書よりメーカーの標準自動車を一部改造及び艤装するもので、その構造は、振動、衝撃等を十分緩衝できるボディーとし、あらゆる走行条件に対して安全で、かつ安定性をもつものであること。

（３）運転席から患者室へ容易に往来できる構造であること。

（４）すべての座席に、シーベルトが設置されていること。

２．主要諸元

車両の主要諸元は、次のとおりとする。

（１）エンジン	ガソリンエンジン
（２）総排気量	2,693cc 以上
（３）最高出力	150ps　以上
（４）駆動方式	四輪駆動方式
（５）変速装置	電子制御４速 AT 車
（６）タイヤ	ラジアルタイヤ（スペア―含む） 冬季用スタッドレスタイヤ（ホイール共）一式
（７）ステアリング	パワーステアリング
（８）最小回転半径	6.4m 以下
（９）オルタネーター	150A 以上
（10）サスペンション	救急車専用サスペンションを設けること。
（11）制御方式	ABS 方式
（12）車両寸法	
全　長	5,600mm～5,650mm
全　幅	1,800mm～1,900mm
全　高	2,480mm～2,540mm
ホイルベース	3,666mm 以下
（13）患者室寸法	
室内長	3,110mm 以上
室内幅	1,680mm 以上
室内高	1,850mm 以上

３．標準取付け品

受注者が示した標準取付け品及び付属品はすべて納入するものとする。但し、この仕様書で指定したものと重複するものは除くことができる。

４．　外装関係

（１）総体的に重量軽減を行い、積載品等を搭載したときの前後、左右の過重バランスを考慮すること。

（２）車体は全有蓋で、密閉式構造であること。

（３）外板は主として鋼板とし、主要部の継目は溶接とすること。

（４）全般にわたり、防錆、防水処置を施すこと。

（５）緩衝装置は、資機材を用いた業務の遂行にあたり十分な性能を有すること。

（６）フロントグリル中央に直径 150mm の消防章を取り付けること。

（７）牽引フックをフロントバンパー下部に堅固に取り付けること。

（８）フロントアンダーミラーを設置すること。

（９）危害防止等の措置を講じた緊急援助隊旗用の旗たて及び旗棒を設けること。

（10）防水対策を施した外部コンセント（AC100V）を運転席側に設け、接続コード 10m 以上（プラグ付）を付属すること。なお、自動充電器を設置すること。

（11）隊長席から車両左後方及び患者室が確認できるミラーを設けること。

（12）患者室の窓は、プライバシーガラスを使用し、窓の下１/２もしくは２/３以上を曇りガラス又は同等品以上の目隠し処理を施すこと。

（13）リアドアーは、悪天候、緊急処置にも対処し得るよう跳ね上げ式とすること。

（14）リアドアーからの担架及び傷病者の乗降用として、バックステップ（アルミ製縞鋼板）をフレームに確実に、かつ堅固に取り付け、リアバンパー損傷防止板（アルミ製）を取り付けること。

（15）車体後部には、ストレッチャーによる搬入が容易に行われる構造であること。

（16）マッドガード（泥よけ）を全車輪に取り付けること。

（17）各ドアーの施錠は、運転席からの集中ロック式とすること。

（18）バール、万能斧、ガラスカッター、シートベルトカッター等のレスキューセットを車体側面等の収納ボックスに設置すること。

（19）リアドアー、サイドドアーには、オートクロージャーを取り付けること。又、リアドアーには非常時の解除スイッチを設けること。

５．　内装関係

（１）患者室の床には、水洗いに耐える防水防錆加工処理を施すこと。

（２）各ドアーの出入口付近にアシストグリップを設けること。

（３）傷病者ベッドの頭部側にメディカルシート（救急処置用の座席）を有すること。

（４）患者室の天井部に大型換気扇を設けること。

（５）患者室の左右ルーフサイド、窓下側面等には、救急資機材を有効に収納できる棚及びボックスを設けること。（フル装備）なお、棚、ボックスは堅牢でかつ緩衝材内張り等の加工処置を施すこと。

（６）患者室の有効な位置に、点滴フック（収納式）を３箇所以上設けること。

（７）患者室の有効な位置に、冷温蔵庫及び足踏み式汚物入れをそれぞれ設けること。

（８）患者室の有効な位置に、電動ポンプ手洗い器及び自動式手指消毒器、タオル掛けを設けること。
（９）患者室の天井部に、収納ネットを２ヵ所以上設けること。
（10）患者室の見やすい位置に、デジタル時計（電波式）及び温湿度計を設けること。
（11）車内に救命浮環を取付けること。
（12）患者室のサイド及びリアウインドウ（電動式）にカーテンを設けること。
（13）患者室の使用に適した位置に自動体外式除細動器用、患者監視装置、輸液ポンプ等のブラケットを設けること。
（14）運転席と助手席間に地図入れ収納ボックスを設けること。
（15）患者室の使用に適した位置にホワイトボードを設けること。
（16）患者室の使用に適した位置にＣ型バネ付フックを適当数設けること。
（17）患者室の適した位置に消火器を設置すること。（取り付け金具含む）
（18）同様にスクープストレッチャー及び収納装置を有すること。
（19）同様にバックボードの収納装置を有すること。

６．メインストレッチャー及び架台等
（１）防振架台は、加速度等により生ずる揺れを十分吸収できる緩衝装置を有するものであり、左右にスライドできるものであること。
（２）防振架台は、胸骨圧迫等の処置のため任意の位置でロックできる機構を有すること。
（３）防振架台上にメインストレッチャーを収納し、走行中に振動や移動を生じないワンタッチ式の固定装置を設けること。
（４）メインストレッチャーの型式は、松永製作所製「GT-06」又は同等品以上とする。なおサイドアームプレート（オキシクリップ装着可能とする。）およびIVポールを設けること。
（５）メインストレッチャーに、オキシクリップ・モデル514-2（２リットルボンベ2本、酸素吸入及びデマンド用アウトレット付レギュレター１個を付属する）、収納ポーチ・モデル250、各部レストレイント・モデル414-R、414-OL、415、417-1、パックラック・モデル274-1、雨覆い、（以上各１式）、430-2ピース（２式）を付属品として装備すること。

７．酸素吸入装置等
（１）酸素ボンベ固定装置は、有効な位置に設け、１０リットル型アルミボンベ２本を脱着できる構造とすること。
（２）酸素の配管は、天井及び側板に埋設し、酸素マスク２個以上を収納できるコンソール等を設けること。
（３）二連式加湿酸素流量計は、オキシパック・OX-FDX 型とし、患者室の有効な位置に設けること。

８．電装関係

（１）バッテリー及びオルタネーターは、救急資機材及び各種電装品に必要な電気容量を十分に確保し、供給し得るものであること。

（２）バッテリー収納部は、容易に点検及び整備ができる構造とすること。

（３）エアコンは、メーカー純正のオーバーヘッドデュアルエアコンとすること。

（４）暖房装置は、運転室用のほか、温風ヒーターを患者室に設けること。

（５）運転席に、電流計及び電圧計を取り付けること。

（６）ルーフ前面に散光式警光灯（LED）、及び後部ルーフサイドに流線型点滅警光灯（LED 左右各１個）を設け、スイッチはコントロールボックスに設けること。

（７）前号警光灯は、ルーフ一体埋込型とする。

（８）車両前部のバンパー付近に赤色警光灯（LED）及びフォグランプ（ヘッドライト一体型を含む）を、それぞれ２個取り付けること。

（９）電子サイレンアンプは、「救急自動車に備えるサイレンの音色の変更について」（昭和４５年６月１０日付消防第 337 号通知）に適合するものとし、スピーカー50W 以上２個を接続すること。なおハーモニックサウンド及びフェードインアウト機能付とすること。

（10）補助サイレンを設けること。

（11）補助サイレンのディマースイッチを、隊長席及び運転席の手元等に２個以上増設すること。（隊長席は、アシストグリップ付近 運転席は手元付近）

（12）運転席用フレキシブルマイク（スイッチ付）を、運転席ドア上部に操作に支障のないよう設けること。

（13）電子サイレンユニット、散光式赤色警光灯、その他各電装品のスイッチ類は、運転席及び隊長席から容易に操作できるように、インストールパネル付近に集中して配置すること。

（14）前号電装品のヒューズ等は一括して設け（特装ヒューズボックス）、表示すること。

（15）車両の左右折及び後退等を警報音及び音声で警告する音声合成装置を取り付けること。なお、解除スイッチを運転席に設けること。

（16）運転席、隊長席（助手席）、患者室隊員席にマップランプを設けること。

（17）車体の有効な場所に、アースボンディング（雑音防止装置）を取り付けること。

（18）患者室内に、交流 100V 出力コンセント（ダブル）及び DC12V 出力コンセント、同シガーライター型コンセントを使用に適した位置にそれぞれ２ヵ所以上設けること。（銘板表示）

（19）患者室内に、蛍光灯４灯以上、患者観察用のスポットライト２灯を設置し、いずれも調光器を設けること。

（20）リアドアーに、搬入、搬出作業用としてスポットライト（連動及びスイッチ付）及び 45W 以上のマグネット式サーチライト（コード５m）を後部に設けること。又、吸盤付とすること。

(21) 前照灯は、ディスチャージヘッドランプ又は同等品を装備すること。
(22) バックアイカメラを装備すること。なお、モニターはコンソール内蔵型とすること。(GPS ナビゲーションシステムメモリー型又は同等品)
(23) 後輪灯を取り付けること。(左右)
(24) サイドフラッシャーランプを、ボディー上部両側部に設けること。
(25) ETC を装備すること。(内蔵型としセットアップ含む)
(26) 現場作業灯
ア　ルーフ左右両側に各２灯計４灯、５０W ハロゲン使用、照射方向は下方４５度とすること。
イ　シフトが P レンジ時更にサイドブレーキを引いた状態でスイッチが動作すること。(法規上走行時の点灯は違反行為となるため)
ウ　左右選択スイッチを設け、左右同時点灯ができないこと。
エ　消費電力を考慮して、点灯に連動したアイドルアップ装置を設け、バッテリーの電圧低下を防止すること。

9．無線及び携帯電話
(1) 消防無線
ア　消防専用無線電話装置は、型式検定に合格及び無線設備規則の基準に適合し、車載用とし出力１０W 以上の出力を有するものとする。
イ　無線アンテナは、基部スパイラルタイプとしボディー屋根に設け、無線機本体は運転席及び助手席から操作し易い場所に取り付けること。
ウ　患者室の隊員席に送受話器とスピーカーを取り付けること。
エ　携帯無線機（旧車からの載せ換え）
オ　無線機は、予備車からの乗せ換えとし保守管理の関係上消防本部と協議のうえ移設し、費用は受注者負担とすること。なお免許変更申請を含むこと。
カ　現在の中央救急１号車の無線機を「中央救急３」に呼出し名称の変更を行い、免許変更申請の費用は受注者負担とすること。
キ　デジタル対応のケーブルを通線しておくこと。
(2) AVM（車両運用端末装置・ナビゲーション一体型/８型以上)
ア　予備車からの乗せ換えとし、保守管理の関係上消防本部と協議のうえ移設し費用は受注者負担とすること。また、現在の中央救急 1 号車の AVM 設定変更を行い、それに伴う指令システムの出動計画変更の費用は受注者負担とすること。
イ　AVM 本体は、ボックス内に収容し運転席、助手席両方で操作できる場所に設置すること。
(3) 携帯電話（FOMA)
患者室内に携帯電話用ホルダーを設置し、充電ができるようにすること。

10. 塗装

（1）塗色はボディーを白色とし、補修用塗料を添付、ボディーラインを朱色（ライン幅 70～80mm）とし、リアドアー部分は蛍光テープとすること。

（2）車両後部側面及びリアドア―に、次に揚げる文字を記入すること。

ア　記入文字

①車両後部側面	山鹿植木広域消防本部　山鹿消防署
②リアドア―	山鹿植木広域消防本部　山鹿消防署

イ　文字の色　紺色

ウ　字体　丸ゴシック体

エ　施工　カッティングシート

（3）救急シンボルマーク・スターオブライフを車両前部側面ドアー及びバックドア上部に標示すること。色は紺色とすること。

（4）車両上部に、別途協議のうえ対空標示「山Ａ1」を標記すること。

（5）車両前面に、「山 A1」と標示すること。

（6）別途協議のうえ、現在の中央救急1号車に対空標示「山Ａ3」また車両前面に「山Ａ3」と標示すること。表示変更手数料は、受注者負担とする。

（7）納入後1ヵ年以内に塗装部の剥離、亀裂が生じた場合は、再塗装すること。なおその他詳細については別途協議すること。

11. 取り付け及び付属品等

（1）高度救命資器材等を、協議により車内に搭載するものとする。

（2）取り付け及び積載については、堅牢で震動に十分耐える構造とすること。

12. 車両装備品

スペアタイヤ、（装備品と同等品）スタッドレスタイヤ４本（ホイール付属）樹脂製タイヤチェーン、牽引用布製ロープ、停止表示板、フロアマット、車輪止め、サイドバイザー、予備電球、予備ヒューズ、補修用ラッカー（200cc）、画板、携帯サーチライト２個（LED 充電式）

別表１　取付品及び付属品

品　名	数　量	摘　　要	備　　考
メインストレチャー 防振架台	1　台 1　台	松永製作所「GT-06」又は同等品 IV ポール、オキシクリップ、プロテクター、サイドアームプレート（右）レストレイント、収納ポーチ、パックラック、リトラクター、雨覆等付を属 磁気式メデックマスターNA-3 又は同等品	
電子サイレン	1　式	メーカー標準、アンプ、スピーカー、マイク拡声装置付、ピーポー・ウー音２音式、ハーモニックサウンド及びフェードインアウト機能付	
赤色警光灯	1　式	マーカー標準、ルーフ前、後部、フロントバンパー部　LED	
酸素吸入器 　オキシパック 　OX－FDX 型	1　式	２連式加湿流量計、減圧弁、ヨーク型、10ℓボンベ３本（予備１本） 酸素吸入及び蘇生用マスク大小各２個、延長ゴム管バルブ用金具	
人工呼吸器	1　式	ANSWER 又は同等品	車載用
エアウェイ	2　組	ゲデルタイプ大中小３種	
開口器	2　組	ハイステル、エスマルヒ氏式	
消火器	1　本	標準型（自動車用 ABC4 型以上）	取り付け金具含む

別表２　軽微な変更として備えることができる取付品及び付属品

電子サイレン以外のサイレン	1　式	補助サイレン	
GPS ナビゲーションシステム	1　式	メモリー型又は同等品	

別表３　その他取付品及び付属品外装関係

外装関係

消防章	1　個	樹脂製１５０ｍｍ	
牽引フック	1　個		
フロントアンダーミラー	1　式	標準仕様	
旗立て（パイプ）	1　個		
AC１００V 外部コンセント	1　式	１０ｍコード付	
隊長ミラー	1　式	内外	
マッドガード	1　式	全車輪	
キーレスエントリー	1　式	集中ロック式	
レスキューセット	1　式	収納庫含む	
オートクロージャー	1　式	解除スイッチ付	

内装関係

アシストグリップ	1　式	標準仕様	
メディカルシート	1　式	標準仕様	
大型換気扇	1　式	標準仕様	
資機材収納庫	1　式	フル装備（ME 機器ラック取付含む）	
点滴フック固定装置	3　個	患者室中央部２、後部１	
冷温蔵庫	1　式		
汚物入れ	1　式		
電動ポンプ手洗い器	1　式	タオル掛け付属	
自動式手指消毒器	1　式		
収納ネット	2　組	患者室中央部	
大型デジタル時計	1　個	患者室内	電波式

温湿度計	1　個	患者室	
救命浮環	1　個		取付装置付
カーテン	1　式	患者室内窓、後部電動式	
輸液ポンプ取付用 パイプホルダー	1　式		
地図等収納ボックス	1　式	ウォークスルー部	
ホワイトボード	1　式		
スクープエクセル	1　式	ファーノワシントン モデル６５EXL	取付装置付

電装関係

エアコン	1　式	オーバーヘッドデュアルエアコン	
電流計・電圧計	1　式	アナログ式	
フォグランプ	1　式		
フレキシブルマイク	1　式	運転席用	
左右後退音声警報装置	1　式	解除装置付	
マップランプ	3　式	フレキシブル式	
アースボンディング	1　式		
AC/DC インバーター	1　式	正弦波３００W 以上	
AC/DC コンセント	1　式	2ヵ所以上　銘板表示	
患者室蛍光灯	1　式	調光機能付　４灯以上	
患者室スポットライト	1　式	調光機能付　２灯以上	
後部スポットライト	1　式	ドア―連動及びスイッチ付患者等兼用	
マグネット式 サーチライト	1　式	コード５m付	
前照灯	1　式	ディスチャージヘッドランプ又は同等品	
バックアイカメラ 及びモニターTV	1　式	コンソール内蔵型モニター （GPS ナビゲーションシステム付）	

後輪灯	1　式	左右	
サイドフラッシャーランプ	1　式	ボディ上部両側部	
ETC	1　式	内蔵型	セットアップ含む
現場作業灯	4　個	ボディ上部両側各２	

消防無線、AVM、携帯電話

無線電話装置・アンテナ	1　式	予備車からの乗せ換え、移設工事 アンテナは新設	
送受話器・スピーカー	1　式	患者室	機種メーカー協議
携帯無線機		旧車からの乗せ換え	
AVM（車両運用端末装置）	1　式	予備車からの乗せ換え、移設工事 移設できないものは新設	
携帯電話取付ホルダー	1　式	NTT　Docomo（FOMA 式） 充電可能なこと	機種メーカー協議

車両装備品等

標準工具	1　式		
スペア―タイヤ	1　式	装備同等品	
スタッドレスタイヤ	1　式	冬季用　ホイール付属４本	
タイヤチェーン	1　式	樹脂製	
牽引ロープ	1　式		
停止表示板	1　式		
フロアーマット	1　式		
車輪止め	1　式	ゴム製	
サイドバイザー	1　式		
予備電球・予備ヒューズ	1　式		
補修用ラッカ―	1　個	200cc	
画板（B4 版）	1　個		
携帯サーチライト	2　個	LED、充電式	

平　成　２５　年　度

高度救命処置用資機材仕様書

山鹿植木広域行政事務組合消防本部

第１　総　則

１　本仕様書は、山鹿植木広域行政事務組合消防本部（以下「消防本部」という。）が、平成２５年度に山鹿消防署へ配備する高規格救急自動車と併せて整備する高度救命処置用資機材（以下「救急資機材」という。）の仕様について定める。

２　救急資機材は、平成１６年４月１日付、消防庁告示第１号で改正された「救急隊員の行う応急処置等の基準」に沿うものとする。

３　検査は、救急資機材納入時、本仕様書に基づき消防本部が行う納入検査を受けるものとする。

４　納期は、平成26年3月31日までとし、納入場所は山鹿消防署とする。

５　保証期間は、原則として１年間とするが、メーカーの厚意による仕様の変更等についてはこの限りではない。

６　本仕様書に明記していない仕様について疑義が生じた場合は、別途に消防本部の指示を受けるものとする。

第２　救急資機材の機能

１　自動体外式除細動器

心肺停止の傷病者のうち、心電図上心室細動等が認められる場合、医師の指示及び解析機能により、救急救命士が実施する電気的刺激を与え、洞調律を得ようとする機器であるもの。

２　輸液用資機材一式

心肺停止の傷病者のうち、うっ血が認められるものに対して、医師の指示により救急救命士によって施行される末梢血管確保のための輸液のセットで、輸液ポンプ等を含むものであるもの。

３　気道確保用資機材一式

心肺停止の傷病者のうち、人工呼吸を実施する際、換気抵抗があり、医師の指示により救急救命士が使用するラリンゲアルチューブ、食道閉鎖式チューブ、挿管チューブ等であるもの。また、気道異物除去の資機材であるマギール鉗子、経口エアウェイ、開口器、手動式吸引器、電動式吸引器を含むもの。

４　傷病者監視装置

救急現場、救急車内において処置行為を行う前段階として、傷病者の状態（心電図、血圧、動脈血酸素飽和度）を客観的に把握するシステムであるもの。

５　デジタル携帯電話（ＦＯＭＡ）

救急現場及び救急車内から高度救命処置を実施するため医師の指示を得るためのもので、当本部と打合せ後、容易に操作できる位置に取付ができるよう当本部の指示により施工すること。

6　人工呼吸器

医師の指示下により気管挿管また、食道閉鎖式エアーウェイによる気道確保を行った際呼吸管理が容易にできるもの。

7　ペンライト

傷病者の瞳孔を容易に確認でき瞳孔ゲージ付のもの。

8　体温計

容易に赤外線センサーで測定し、２秒以内に体温をデジタル表示できるもの。

また、脇下式体温計でデジタル表示できるもの。

9　携帯型アネロイド血圧計

マノメーターと送気球が一体化された小型血圧計で、携帯用の収納バッグに大中小の３種の腕帯が収納されており、車外での使用に適するもの。

10　ウォール型アネロイド血圧計

患者室内に設置するもの。

11　携帯血圧計(手首測定式)

簡便に、迅速に血圧測定ができるもの

12　聴診器

心音及び呼吸音を聴取することにより、傷病者の状態を把握できるもの。

13　パルスオキシメーター(簡易型)

携帯型で、簡便に動脈血酸素飽和度を測定で成人及び小児が測定できるもの。

14　多目的駆血帯

四肢の圧迫止血が不可能な場合にワンタッチで脱着でき、容易に洗浄できるもの。

15　応急処置用冷却剤

気化作用により、自動冷却するもの。

16　洗眼器

傷病者の眼内異物を取り除くためのもの。

17　膿盆セット

材質はステンレスで、３サイズが１セットになっているもの。

18　氷のう

傷病者を容易にアイシングできるもの。

19　救急ハサミ

熱傷等の受傷時に衣服切断に最適で、皮膚面を傷つけ難いもので、金属等の切断も可能であるもの。

20　バックボード(ファーノ社製、ヘッドイモビライザーを含む)

ベルトを用い、脊柱を確実に固定、保持し、車外救出にも有効に使用できるもので、頭部固定を容易に保持できるもの

21　バキュームスプリント（陰圧副子・全身及び部分用）

全身及び局所の固定に速やかに装着でき、血液等により汚染されないように防水性を有するもの。

22　ソフトシーネ

患部にソフトにフィットし、固定効果に優れたもの。

23　頸部固定具・スティクネックセレクト（大小3セット）及びエクストリーケーションカラー・ファーノモデル４５２・ＳＭＬ（１セット）

頸部に損傷あるいは損傷の疑いのある傷病者の頸部を有効に固定し、防水性能を有するもの。

24　布(ターポリン)担架

狭い階段等、通常の担架での搬出が困難な場所で、迅速に安全に傷病者を搬送できるもので携帯に便利で防水性に優れたもの。

25　喉頭鏡

気道異物の喉頭確認、気管挿管を実施する際、喉頭が容易に確認できるもの。

26　携帯用人工呼吸器(マイクロベント)

いち早く現場に携行し心肺停止の傷病者に人工的に換気を行うもので、携行用のソフトバックを有するもの

27　手動式人工蘇生器（バックマスク・成人、小児、新生児用各１個）

傷病者の自発呼吸の回復、又は改善を図るため使用するもので、耐久性に優れ、気道抵抗等についても容易に判断できるもの。(シリコン製)

28　C02モニター　ノーニン製ＴＧ－900Ｐ又は同等品

29　酸素ボンベ　2リットル及び10リットル容器

30　経鼻エアウェイ

意識障害のある傷病者で、舌根沈下がある場合及び経口エアウェイでは気道確保が不十分か、嘔気を誘発する場合等のときに有効であるもの。

31　舌鉗子セット

意識障害、また気道異物等の傷病者の舌を容易に挟めるもの。

32　舌圧子セット

気道閉塞等の傷病者の舌を容易に圧払いできるもの。

33　バイトブロック

食道閉鎖式エアウェイ、気管挿管で気道確保した際の固定補助器具。

34　鼻カニューラ（ソフトタイプ）

低流量の酸素を傷病者へ容易に投与できるもの。

35　内因性バッグ

通常使用頻度の多い資機材を容易に使用できるよう、整理、収納に優れたもの。

36　外傷性バッグ

通常使用頻度の多い資機材を容易に使用できるよう、整理、収納に優れたもの。

37　特定行為セットバッグ

救急救命士の行う特定行為用資機材を一つにまとめて収納できるものであるもの。

38　Myscoステンレスパット蓋付（2号、3号）

処置ﾊﾞｯｸ内の整理が容易にできるもの。

39　携帯酸素携行バッグ

２リットルの携帯酸素ボンベを携行できるものであること。

40　在宅医療処置セット

人工透析や気管切開、輸液、人工呼吸器装着の在宅医療継続中の患者処置に有効な器材であるもの。

41　救急分娩セット

救急現場、救急車内での緊急分娩に必要な資機材をセットしているもの。

第３　その他の付属品

血液融解洗浄剤（チトレール）、安全ベスト（赤城衣料）、Ｎ９５マスク、サージカルマスク、標準感染防護衣、シューズカバー、空気感染セット、イーバックチェア

第４　高度救命処置用資機材

救急資機材は、別表「高度救命処置用資機材一覧表」のとおりとする。

別表　　積載品（高度救命処置用資機材）

品　　名	個　数	摘　　要	備　　考
自動体外式除細動器 （半自動式除細動器）	１　式	TEC－２５１３ 二相性除細動器（日本光電） 電極パッド２０組 ウォールマウント、バッテリーパック（予備２） バッテリーチャージャー、テスター ほか必要付属品１式	取付け金具含む
輸液用資機材一式 輸液セット 輸液ポンプ カットダウンセット	 １　式 １　式 １　式	 三方活栓エクステンションチューブ輸液セット ６０組　プロクテクター留置針20、22、24G各1箱 TOP製汎用型 パラメディックケース	
気道確保資機材一式 ラリンゲアルチューブ 挿管チューブ コンビチューブ 挿管セット マギール鉗子 手動気道異物吸引器 電動式吸引器	 ３　組 各１箱 ２　組 １　組 １　組 １　式 １　式	 サイズ０～５（６種） サイズ6.0mm6.5mm7.0mm7.5mm SAサイズ A型又は同等品ソフトバッグ　喉頭鏡セット 含むファイバー喉頭鏡ハンドル（ブレード４付属） 大、小（２種） レールダルLSU4000	 取付金具含む
傷病者監視装置 心電計 血中酸素飽和度測定器 携帯型救急モニターシステム	１　式	レーダーサーク（日本光電） ほか付属品一式 〈オプション〉 プリンター記録紙×２０ バッテリーL×２ ECGケーブル×１ PCMCIAカード（1Gフラッシュメモリ） 血圧用カフ（成人×１　小児×１） 本体収納バッグ、架台	 取付金具含む

自動車電話 （携帯電話）	１　式	NTT　Docomo （FOMA式）	取付金具含む

品　　名	個　数	摘　　要	備　考
観察用資機材			
ペンライト	３　個	瞳孔ゲージ付	
体温計	１　個	非接触式赤外線体温計	
同	３　個	電子式体温計	
アネロイド血圧計	１　式	タイコス携帯型（カフ大中小３種）	
ウォール型血圧計	１　式	車載式	取付金具含む
手首用血圧計	１　個		
聴診器	２　個	リットマンクラッシツクⅡ	
パルスオキシメーター	２　式	簡易型（成人、小児測定可能なもの）	
創傷保護資機材			
駆血帯	各１組	多目的駆血帯及びプレメータ	
応急処置用冷却剤	１　式	バーンキット	
看護用資機材			
洗眼器	１　組		
膿盆セット	１　組	大中小（３種）	
氷のう	１　個		
救急はさみ	各１個	万能はさみ、はさみ（普通）	
固定用資機材			
バックボード	１　式	ファーノ社製（ヘッドイモビライザー含む）	
バキュームスプリント	１　組	日本光電　セットA（EVSー9075A）	
（陰圧副子）		標準サイズの全身マットレスタイプ	
		及び部分固定用スプリント	
ソフトシーネ	２　組	L、M、S、SS（４サイズ）	
ステックネックセレクト	３　組	レールダル社製	
エクストリーケーション	１　組	ファーノワシントン　モデル４５２	
カラー		S、M、L１セット	

搬送用資機材 布担架	 １　組	 ターポリン	
呼吸・循環管理用資機材 喉頭鏡 マイクロベント バックマスク Co2モニター 酸素ボンベ 経鼻エアウェイ 舌鉗子セット 舌圧子セット バイトブロック 鼻カニューラ	 １　式 １　式 各１組 １　式 ２　本 ５　組 １　式 １　式 ２　組 ５　個	 MACビデオ喉頭鏡一式 （予備バッテリー×１　ブレードMAC３×１箱 ブレードMAC４×１箱） マスク大中小、レギュレーター付 成人用、小児用、新生児用 ノーニン製TGー900P又は同等品 ２リットル ポーテック製 6mm 7mm 8mm 9mm 大中小 フレンケル氏及び照明付舌圧子 バイトステック 大中小　３種 ソフトタイプ	 現場携帯用

その他の救急資機材			
内因性バッグ	２　個	トーマス・トランスポート・バッグ Ｓサイズ	
外傷バッグ	２　個	ＥＭＳスモールトラウマバッグ	
特定行為セットバッグ	１　個	トーマス・トランスポート・パック Ｍサイズ	
ステンレスパット	各１個	Mysco ステンレスパット蓋付 (2号、3号)	
携帯酸素携行バッグ	１　個		
在宅医療処置セット	１　式	EMS００－２１０又は同等品	
救急分娩セット	２　式		
その他付属品			
血液融解洗浄剤	１　個	日本ペディコ500cc（スプレー付） ２リットル（携帯用）	
安全ベスト	６　着	赤城衣料　レスキューベスト （青色１着　黒色５着）背面ネーム入り	
N９５マスク	50枚	排気弁付	
サージカルマスク	100箱	１箱５０枚入り	
標準感染防護衣	200枚	背面ネーム入り (L 100枚　LL 100枚)	
シューズカバー	５０箱		
空気感染防護セット	５０個	ICK-３同等品	
階段避難用器具	１　式	イーバックチェア	